



せたがや 介護ネットニュース

第 69 号（新年号）

発行日：平成 31 年 1 月 1 日

発行：世田谷区介護サービスネットワーク

事務局：世田谷区福祉人材育成・研修センター

住所：世田谷区成城 6-3-10

研修グループ企画研修 『高次脳機能障害』 3 回連続講座を終了して

研修グループは平成 30 年 9 月 21 日(金)、10 月 12 日(金)、11 月 8 日(木)と高次脳機能障害について 3 回の連続講座を開催いたしました。

今回、初の試みとして、講師だけではなく、3 回とも高次脳機能障害を持つ当事者の方にご登壇いただきました。当事者にしかわからない悩みや経験など、貴重なお話を伺うことができました。高次脳機能障害は身体的な障害やケガと違い、脳の損傷のため、見えない障害と言われています。ご登壇いただいた方々も記憶障害であったり、空間無視や、失語症であったり、症状によってそれぞれが違う悩みや苦労を抱えていらっしゃいました。

ご登壇頂いた皆さん、職場復帰や社会参加を希望されており、第 1 回目の講師である長谷川幹医師の、「障害者は弱者ではなく弱点があると考え、介助の受け手ではなく、社会参加により、能力も改善する」との言葉が印象的でした。

第 2 回目の繁野玖美作業療法士も社会の中で孤立しない、生きにくさを感じないように、当事者のペースに合った役割を作ることが大切と話されていました。



第 3 回目は「当事者の事例からケアプランを作成しよう」という内容で、5~6 人でグループを作り、当事者の話を聞きながら、当事者に合ったケアプランを考えました。当事者ご自身の経験を生かして障害者の雇用や販促に携わる、企画や企業コンサルタントとして働くなどいろいろなアイデアがありましたが、プランは実行しなければ意味がない、実際に地域や会社などに働きかけていきましょうと長谷川幹医師がまとめられました。

3 回の連続講座を通して、高次脳機能障害についてより理解が深まった非常に有意義な講座だったと思っています。

研修グループ 斎藤典子



当事者と語る

訪問介護連絡会から「サ責ランド」の報告

サービス提供責任者が集いお互いの悩みや情報を共有するため「サ責ランド」を平成30年9月、10月、11月と3回に渡り3か所の地域で開催しました。3回目は40名以上のかたが参加、総計で約70名参加でした。

この企画はより多くのサ責さんに参加してもらいたい、情報を共有していきたいという思いで始めました。テーマは平成30年4月に改正された「老計10号」を理解しサ責のバイブルであるという認識を持っていただきたいという思いからです。

皆さんとグループワークをして感じたことはまだまだケアマネさんに物申せないサ責さんがいる。そして、サ責は会社との板挟みにもなり理不尽なケアを提供しているということがわかりました。また、サ責の仕事はヘルパーの指導、シフトの作成、計画書の作成などの仕事をこなしても現場に入らねば報酬にはならないため日中は現場、書類はサービス残業で夜遅くまで残り書類作成をしているという実態があります。介護の現場から声を上げていかなければいつまでも3K「汚い、きつい、給料安い」からぬけきれません。ぜひ「かっこいい、高収入、興味が持てる」の3Kになりたいものです。

あるサ責さんは「納得がいかないけれど断れば今後



ケアマネさんから仕事が来なくなる。会社に訴えても売り上げが下がるから我慢しろと言われる。もうどうしていいかわからない」と。でも帰り際にはすっきりされた表情で「来てよかった」と帰られました。

今回の改正で「見守り」が身体と算定されます。ケアマネに言われたからということではこれからは言わない！しっかりした根拠を示し正しい介護報酬を要求できるサ責になってもらいたいと強く感じました。

また「サ責ランド」開催にあたり準備前より世田谷区介護保険課係長のご協力いただきました。1回ずつ終わるたび皆さんから出た質問に対し丁寧に回答いただきました。本当にありがとうございました。最後に「サ責ランド」懇親会を場所は未定ですが平成31年2月8日に開催企画しています。ぜひご参加お待ちしております。

訪問介護連絡会代表 宮川英子



第10回せたがや福祉学会 通所連絡会発表報告

平成30年11月17日（土曜日）に、第10回せたがや福祉学会にて世田谷区介護サービスネットワークの部会活動を報告してまいりました。

報告内容については、通所連絡会の平成27年度から平成29年度の3年間の活動における主な研修内容とその参加者数の推移のまとめです。

私のグループは福祉ジャーナリストの村

田幸子
さんが
進行役

で世田谷区高齢福祉部の瓜生部長が助言役をされておりました。

世田谷区介護サービスネットワークの成り立ちや



現在の組織や会員数、また通所連絡会を構成する通所介護と通所リハビリテーションのサービス内容にも触れてお伝えしております。今回の発表により、今までのことを振り返る作業ができたことが一番の勉強になり、今後の通所連絡会の運営についてプラスにして行きたいと考えております。

お忙しい中傍聴いただいた方に感謝申し上げます。

ろうけんくがやま 和田拓也

第13回世田谷246ハーフマラソン完走しました

介護ネットランニング有志として自前の介護ネットTシャツを着て第13回世田谷246ハーフマラソンに参加しました。この大会の特徴として国分寺崖線を一気に下り駆け上がる激しい高低差と制限時間の短さ(2時間10分)があげられます。マラソン歴1年弱で完走できるか不安でしたが、試走で道に迷って困っている時に会った菊本運営委員の道案内や、運営委員や介護ネット塾のスタッフ及び塾生からの応援メールなどに勇気づけられました。また当日、徳永代表の自転車で追いかけての「走って、走って」という熱い応援。様々な応援に背中を押されて、制限時間内の1時間56分でゴールすることが出来ました。仲間って本当にいいなと思いました。試走と当日の大会により玉川地域を身近に感じるようになりました。また介護ネットTシャツを着て走る事で参加者や応援している人に介護ネットをアピールできたと思います。来年もぜひ挑戦したいと思います。

その他の大会として、2018川崎国際多摩川マラソンハーフの部(記録:1:56:01)、さいたま国際マラソンフルマラソンの部(記録:4:08:05)に参加し介護ネットをアピールしました。今後も多職種の顔の見える関係作りと介護ネットの周知を目的に、マラソン大会やランイベントへします。また世田谷区全体での



RUN 伴+せたがや (RUN 伴 <http://runtomo.org/>) の開催・運営を目標にランニング活動を広げていきたいと思っております。

走ることに興味のある方、ランイベントに参加してみたい方は運営委員会代表徳永さん

(nobu-toku@nice-care.co.jp)まで連絡をお願いします。これから始める方、応援だけという方でも大丈夫です。是非ご参加ください。

砧地域部会 橋元晶子

せたがや通所連絡会研修会「認知症の人の介護」

平成30年11月7日（水曜日）に、せたがや通所連絡会とグループホーム連絡会で「認知症の人の介護」の研修を共同で開催しました。

当日は通所連絡会から21事業所30名、グループホーム連絡会から9事業所28名、計30事業所58名の方にご参加頂きました。

講師は株式会社大起エンゼルヘルプ地域密着・地域包括事業部&入居・通所事業部部長、株式会社「波の女」専務取締役 和田行男先生をお迎えしての講演となりました。

講演は、4月の報酬改正において日常生活の普通のケアがやっと加算に結びついてきたことから、家政婦と介護職の違い、チームワークは大事ではなく利用者ケアに必要なこと、認知症の当事者とは？また「認知症とは何ですか？」と聞かれたら「何と答えますか？」など、多岐にわたり示唆に富んだ内容となりました。質疑応答では4名から、物が無いと言う方への対応方法等についてやキャリア段位制度への先生の見解をアドバイスいただきました。介護職とは、利用



者の変化に気付き、そこから行動に移す実行力を伴ってはじめてスペシャリストとなることなど、認知症の方への関わり方に苦手意識がある方でも明日からチャレンジしてみようと思うような熱い内容の研修となりました。

世田谷通所連絡会では幹事職員を随時募集しており、介護研修に興味がある方や他事業所と情報交換したい方は気軽に声を掛けて頂けたらと思います。

ろうけんくがやま 和田拓也

せたがや通所連絡会研修会「口腔ケアで介護は変わる」

～介護現場での口腔ケア

平成30年11月21日（水曜日）に、せたがや通所連絡会の主催による「口腔ケアで介護は変わる」の研修会を開催しました。

当日は18事業所26名の方にご参加頂きました。

講師は昨年と同様に桐原歯科医院院長で世田谷歯科医師会会員の桐原仁子先生（歯科医師）と世田谷区立特別養護老人ホーム 芦花ホームの渡辺三恵子歯科衛生士さんをお迎えしての講演となりました。

研修では、現場で困っていることを参加者からヒアリング、それに対して回答して頂きました。時間がないときの短時間で尚且つ効率的な口腔ケアの方法や、口を開けてくれない方への声かけや指入れ方法についてはとても参考になりました。また飲み込みには呼吸



と姿勢の関係性を根拠立ててご教授いただき、次の日からすぐにもでも実践できる内容の研修となりました。

世田谷通所連絡会では幹事を随時募集しており、介護研修に興味がある方や他事業所と情報交換したい方は気軽に声を掛けて頂けたらと思います。

ろうけんくがやま 和田拓也

「せたがや介護の日」に参加して

平成 30 年 11 月 4 日(日)に北沢タウンホールで開催された、せたがや介護の日に参加してきました。

今年も介護従事者等永年従事者表彰があり、区内の介護保険サービス等の事業所・施設において、通算 10 年以上勤務された介護従事者等の方々に、保坂世田谷区長から表彰状が一人ひとりに手渡されました。その後、受賞者によるパネルディスカッションが行われ、通所介護連絡会の代表として、介護老人保健施設ろうけんくがやまの住田さんが登壇し、これまでの経験や仕事についての思いをお話されました。

ホール入り口のピロティーでは、福祉用具連絡会の



用具展示と訪問介護連絡会での介護相談を行いました。福祉用具展示ブースにはホールの出入りの途中に多くの方が足を止めて、興味を持ってくれました。介護相談では訪れる人は少なかったですが、かなり親身になってお話をすることが出来ました。

ホールでは認知症サポーター養成講座を開催されたり、映画「しわ」の上映がありました。ほかにも様々な世田谷区内の関係団体のブースが出ていました。あいにくの天気でしたが、参加された方は有意義な時間をすごせたと思います。ご協力をいただいた皆様に感謝します。

世田谷介護ネットワーク代表 徳永宣行

玉川地域部会情報交換会

平成 30 年 11 月 16 日、奥沢区民センターにて、「みんな知ってる？目からウロコのイチオシ情報」と題して情報交換会を開催しました。参加者同士で聞いてみたいことや知りたい情報、知っている情報をひとつのテーブルでざくばらんに話し合いました。

車椅子でも入れるレストラン、包丁を磨いでくれる水道屋さん、喫煙者のシュートステイの探し方アドバイス、リハビリ情報、近隣病院の情報、介護タクシー助成の耳より情報、踏み切りのあるまちについて、自費サービスについて、あんしんすこやかセンターの困っていること、など多種多様な情報交換ができました。普段ちょっと話す機会がないけど知って良かったという情報がたくさんありました。また終始和やかな雰囲気でした。

今後も様々な活動を通してたくさんのつながりを作っていきたいと思います。協力していただけるメンバーと募っていますので是非ご参加ください。次回新年会を予定しています。



玉川地域部会 丸茂典子

研修情報・イベント情報

【世田谷区介護サービスネットワークの今後の予定】

◆【訪問介護連絡会】☆

「サ責ランド」懇親会

平成31年2月8日（金）

会場、時間未定



◆【烏山地域部会】

「介護保険事業所と障害福祉事業所との交流会」

平成31年2月13日（水）

会場 やさしいて烏山

◆【研修グループ】

「歌って！笑って！明日への活力にしよう」

平成31年2月15日（金）

会場：人材育成・研修センター

出演：安楽亭くしゃみさん（新里和宏先生）

佐藤G Oさん（通所相談員）

◆【福祉用具連絡会】

「第5回 福祉用具展示会」

平成31年2月8日（金） 11：00～18：00

会場：成城ホール1階多目的ホール

いろいろな福祉用具を見て触って試せます！

◆【通所連絡会】

1) 「認知症の医学的理解」

平成31年2月20日（水）19：00～20：30

成城ホール集会室C・D

講師 新里和弘氏

◆【世田谷区福祉人材育成・研修センターの研修予定】☆

1) 地域包括支援センター職員研修【社会福祉士】

平成31年1月18日（金） 14：00～17：00

会場：成城ホール集会室C・D

2) 在宅医療を支える訪問看護研修

「在宅小児療養者を支える訪問看護」

平成31年1月19日（土）、26日（土）

両日とも13：00～17：00

会場：世田谷区福祉人材育成・研修センター

※1日ずつ申込ができます。

3) 認知症ケア研修【10】

「応用編～想いに応えるケアを目指して～」

平成31年1月23日（水）、2月20日（水）

両日とも14：00～17：00

会場：世田谷区福祉人材育成・研修センター

4) 障害福祉の理解研修「難病・医療的なケアが必要な方への支援～ストーリー～」

平成31年2月1日（金） 14：00～17：00

会場：世田谷区福祉人材育成・研修センター

5) 課題別研修「職場の人材育成力UP研修2」

平成31年2月13日（水） 19：00～20：30

会場：世田谷区福祉人材育成・研修センター

6) 障害福祉の理解研修

「(仮) 精神障害の理解と支援」

平成31年2月15日（金） 14：00～17：00

会場：世田谷区福祉人材育成・研修センター

7) 多職種で学ぶ医療・福祉連携研修

平成31年2月21日（木） 19：00～21：00

会場：三茶しゃれなあどホールオリオン

※研修にはそれぞれ対象者が決まっております。詳細はホームページをご確認ください。

☆印のイベントの問い合わせは、事務局まで。

問い合わせ先

社会福祉法人世田谷区社会福祉事業団

世田谷区福祉人材育成・研修センター

電話：03(5429)3100、FAX：03(5429)3101